

Charles-François Daubigny



すべてシャルル=フランソワ・ドービニー作 / 上・《オワーズ川の中州》1860年頃 公益財団法人村内美術館蔵 / 左下・《アトリエ船(版画集「船の旅」より)》1862年 個人蔵
右下・《グレイ村の入り口》1871年 ランス美術館蔵 © Christian Devleeschauwer

この展覧会は、19世紀フランスを代表する風景画家の1人、シャルル=フランソワ・ドービニー(1817-1878)の画業を紹介する、国内初の本格的な展覧会です。パリに生まれたドービニーは、アカデミックな修練を経て、1850年代に画壇で風景画家としての地位を確立します。40歳を迎えた年にアトリエを取り付けた船「ボタン号」を手に入れ、晩年にいたるまで、船で川を下りみずみずしいタッチで水辺の風景を描き続けました。ドービニーの作品は広く人気を博した一方で、大胆な筆づかいが旧来の価値観に合わずしばしば批判の対象となりました。ドービニーは、「印象派」のクロード・モネ(1840-1926)ら新しい世代の画家たちに多大な影響を与え、彼らの芸術を積極的に擁護したことで知られます。本展では、国内外のコレクションより、ドービニーの画業初期から晩年までの油彩画・版画等約80点、周辺の画家らによる油彩画約20点をご紹介します。自然のなかに身を置く制作に徹した画家が描き出す、臨場感あふれる風景を、ぜひお楽しみください。

■関連プログラム

ワークショップと託児は事前申込みが必要。
要約筆記や手話通訳、その他支援の必要な方は事前にご相談ください。

1. ワークショップ「水辺のロケーションハンティング」
「ボタン号」に乗って新しい視点を探し続けたドービニーにならい、お気に入りの風景を探すワークショップを行います。
10月19日[土] 午後(雨天予備日10月20日[日] 午後)
予備日に参加できない方も申し込みます。
講師: 片山一葉(アーティスト)
会場: 津市内の川岸または海岸
対象: 小学5年生から大人まで(小学生は保護者同伴)定員12名
詳細は8月中にホームページに掲載し、ウェブ申込フォームを公開します(10月7日[月]メ切)。
パソコン、スマートフォンからのお申込みが可能。希望者多数の場合は抽選します。
2. 担当学芸員によるスライドトーク
異なるテーマで作家や作品についてお話しします。参加無料。
10月6日[日]、11月2日[土] 14:00-14:40頃
会場: 三重県立美術館講堂または美術体験室(当日お知らせします)
対象: どなたでも(大人向け)
3. 担当学芸員によるギャラリートーク
展示室で数点の作品を鑑賞するツアーです。
9月21日[土]、10月27日[日] 11:00-11:30頃
会場: 三重県立美術館企画展示室
対象: どなたでも。展示室に入るためドービニー展の観覧券が必要です。

◎ 9月21日[土]、10月29日[火]の10:00-12:00に1-5歳児対象の託児サービスを館内で実施します。受付はウェブ申込フォームから、先着順で定員各10名。申込期間は9月2日[月]から各実施日の1週間前まで。詳細はホームページをご覧ください。

■巡回情報

2018年度から4都県を巡回した本展は、当館が最終会場となります。
2019年7月19日[金]-9月1日[日]鹿児島市立美術館(先行会場)

■同時開催

中谷ミチコ その小さな宇宙に立つ人
2019年7月6日[土]-9月29日[日] 会場: 三重県立美術館 柳原義達記念館

■次回企画展

生誕120年/没後100年 関根正二展
2019年11月23日[土]-2020年1月19日[日]



津駅(近鉄・JR)西口より徒歩約10分。または、津駅西口1番のりばより三重交通バス「西田地循環」、「津西ハイタウン行き(むつみつつじ経由)」、「夢が丘地行き(総合文化センター前経由)」、「総合文化センター行き」のいずれかに乗車約2分、「美術館前」下車徒歩約1分。こま館は公共交通機関をご利用ください。



三重県立美術館 Mie Prefectural Art Museum
〒514-0007 津市大谷町11 TEL.059-227-2100 FAX.059-223-0570
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/> Follow us on Twitter @mie_kenbi